

# うめのき幼稚園だより

令和6年9月30日  
北区立うめのき幼稚園

10月

げんきもりもり えがおにこにこひとみきらきら



## 失敗から学べる賢さ

園長 篠澤 恵理

子どもたちは、忍者ごっこを楽しんでいます。様々な遊具を並べ、その上を落ちないように歩いたり跳び越えたりすることを、「忍者の修行」として挑んでいます。年少りす組では、折り紙で作ったドングリ人形にも、手裏剣を持たせて、自分の分身のように見立てながら動かして遊んでいます。年長もり組では、ゴムに鈴をつけてV字に置き、鈴の音が鳴らないように跳び越えたりくぐり抜けたりする遊びに夢中です。ゴムの幅が狭いところでは、つま先で降りるように慎重に跳び、ゴムの幅が広いところでは、2本のゴムを続けて跳ぼうと勢いをつけています。何度も繰り返すうちに体の使い方を習得し、跳ぶ位置を修正していることが分かりました。諦めないで取り組もうとする粘り強い心は、自分で決めた「こうしたい。」と思うことをやり遂げようとする中で育まれると感じました。

子どもたちの姿を見ながら、「さっきよりも、つま先で軽く跳びはねていますね。」「跳ぶ場所を変えましたね。」など、工夫していることやその時の状況を伝えると、さらに新たな跳び方を変えて挑戦していました。取り組みの過程を見てもらっていると分かると安心して、もっとやってみようと思うようです。

時には、思うようにならないことで癪癪を起こしたり、ふてくされたりして、すぐに諦めてしまうこともありますが、「ここまでやろうとしたね。」と、今の取組の過程を認める声掛けも大切です。子どもが精一杯に取り組んでいる過程を見届けて、「さっきとの違い。」を伝えていくと、落ち込む気持ちを奮い立たせて気持ちを切り替えることもあります。自分で決めた目当てができるまでは、「ずっと失敗をしている。」と感じてしまいがちな場面ですが、それを失敗と捉えずに、「こうしたらうまくいかない。」「こうしたらどうかな。」と、失敗から学ぼうとする賢さを鍛えているとも言えます。うまくいかない時にこそ、子どもたちの思考が巡り、それを乗り越えていこうとするたくまさが育つチャンスでもあるのです。

大人も、何かに取り組んでうまくいかないと感じるときには、自分なりに工夫したり、気持ちを整えたりして乗り越えていることなど、心の葛藤を子どもたちに伝えていくとよいと考えます。どのように取り組んできたかを振り返るきっかけがあると、「案外自分は頑張っている。」と実感できることもあることでしょう。小さな達成感を積み重ねていかれるよう、子どもたちの「取組の過程」を認めてまいりましょう。



## えがおにこにこコーナー



【北区×東京ヴェルディ体力向上事業サッカー教室】



【じゅうじょうなかはら幼稚園5歳児と交流】



今年度は、東京ヴェルディの方々から年5回来園していただき、じゅうじょうなかはら幼稚園の園児と一緒にサッカーを通して体を動かす楽しさを学ぶ機会があります。ボールに親しみを感じるとともに、様々な人との関わる貴重な機会となり、元気もりもり！瞳きらきら！笑顔にこにこ！と過ごしました。